

Economic Indicators

発表日: 2023年7月7日(金)

主要経済指標予定(2023年7月10日~7月14日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(7月10日~7月14日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
7月10日 (月)	8:50 5月国際収支統計 経常収支(原数値、億円)	+22,332	+18,690	+14,613~+28,626	+18,951
	8:50 6月貸出・預金動向 国内銀行貸出残高(前年比)	—	—	—	+3.8%
	13:30 5月特定サービス産業動態統計調査				
	14:00 6月景気ウォッチャー調査 現状判断DI(季節調整値)	55.1pt	—	—	55.0pt
	先行き判断DI(季節調整値)	53.4pt	—	—	54.4pt
7月11日 (火)	8:50 6月マネーストック M2(前年比)	+2.7%	+2.7%	+2.6%~+2.8%	+2.7%
	M3(前年比)	+2.1%	+2.1%	+2.1%~+2.2%	+2.1%
	広義流動性(前年比)	+2.4%	+2.4%	+2.4%~+2.6%	+2.4%
7月12日 (水)	8:50 6月企業物価指数 (前年比)	+4.3%	+4.3%	+3.5%~+5.1%	+5.1%
	8:50 5月機械受注統計 船電除く民需(前月比)	+1.2%	+1.0%	▲2.8%~+2.5%	+5.5%
7月13日 (木)					
7月14日 (金)	13:30 5月鉱工業指数・確報 鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	▲1.6%
	(前年比)	—	—	—	+4.7%
	稼働率指数(前月比)	—	—	—	+3.0%
	生産能力指数(前年比)	—	—	—	▲0.2%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



6月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+4.3% 中央値：同+4.3%

6月の国内企業物価を前年比+4.3%、前月比+0.1%と予想する。飲食料品を中心とした価格転嫁は粘り強くみられる一方、年明け以降の原油価格の下落を反映して電気・ガス・水道の鈍化が続くことで、前年比の伸び幅は4%台まで縮小する見込み。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

5月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比+1.2% 中央値：同+1.0%

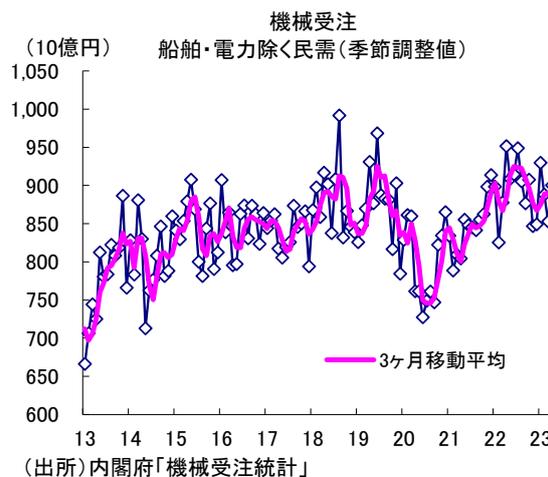
5月の機械受注（船舶電力除く民需）を、前月比+1.2%の増加と予想する。4-6月期の内閣府見通しでも高い伸びが予想される非製造業の増加が続くことに加えて、製造業も先月までの落ち込みからの反動増が出やすいとみられ、機械受注は2か月連続の増加となるだろう。先行きについては、海外経済の減速による下押しで製造業は弱含みが続くが、国内のサービス業の回復を背景として非製造業は増加傾向が続き、全体では緩やかな増加となるだろう。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

図表1



図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。